



箱根の旅愁

「強羅環翠楼」60年①



昼食をとる日米の首脳陣。
中央奥が池田総理大臣

日米経済会議とローハイド

コラム 座間真一

箱根登山鉄道はスイッチバックを繰り返しながら、山あいを進む。湯本駅から渓谷沿いに新緑のトンネルを抜け、終点の強羅に到着する。その手前、右側に「強羅環翠楼」の庭園が見える。敷地五千三百坪。緩やかな

斜面に、楓、桜、榎、松、楠などの木々が茂る。小川や池が巧みに配され、雅びと野趣のほどよいバランスが心地よい。強羅環翠楼の創業は昭和二十四年。年齢でいえば、還暦を迎えた。本館の建物は百年の歴史がある。ここは元三菱財閥の岩崎家の別邸だった。創業者の岩崎弥太郎の三男、岩崎康弥が大正四年に土地を購入。同十年頃に別荘を構えた。それを戦後、小田原の大網元である鈴木二六が譲り受け、旅館として開業したのである。

昭和三十年、天皇后両陛下が離れの錦華亭に宿泊されている。夕食は相模湾の豊富な幸が並ぶ。特筆すべきは陛下が箱根芋煮をお代わりされたことである。陛下は「強羅環翠楼にて」と題し、歌を詠まれている。「思ひでのふかき山々さびしげにそばだつ見えて秋ぞくれゆく」

作家の石川達三、火野葦平、尾崎一雄、丹羽文雄。年は下り、「収容所群島」を執筆、ロシアから米国に亡命したソルジェニツィンが、お忍びで来日、ここで旅装を解いた。昭和三十六年、第一回日米貿易経済合同委員会が開かれる。会場は仙石原のホテルが選ばれているが、昼食を強羅環翠楼の大広間でとっている。日本側から池田勇人総理、佐藤栄作通産大臣、大平正芳官房長官。米国側からラスク国務長官、ライシャワー駐日大使らが顔を揃えた。池田総理は所得倍増論を掲げ、日本は高度成長の道を歩む。食事は天ぶら、刺身、スキヤキが振舞われる。この年、坂本九の『上を向いて歩こう』が大ヒットしている。NETテレビで放映されていた西部劇『ローハイド』。昭和三十七年には、クリント・イー

ストウッドら主役たちが来日、羽田空港は大騒動になる。一行は強羅環翠楼に泊まった。元横綱の双葉山定次も宿泊。色紙に「寿」のひと文字を豪快に揮毫。昭和二十九年には、毎日新聞社主催の本因坊戦が開かれ、後に九連覇という大記録を成し遂げる高川秀格が、挑戦者の杉内雅男を退けた。「買ったしゃぼん」と、ちいさくなって、あすが別れの湯のけむり」と旅愁を綴ったのは西條八十である。

両陛下が宿泊された錦華亭や、岩崎康弥が好んで過ごした本館二階「晴旭の間」は、よき時代の面影を今もとどめる。部屋は十四室。風呂の名は石川達三や尾崎一雄が命名し、それぞれ木札にその名を記した。

昔は二階から木立の向こうに相模湾がくつきり見えた。明星ヶ岳の大文字焼は今も楽しめる。箱根は紫陽花も見事である。大都会の喧騒を忘れ、湯けむりに包まれ、相模湾で獲れた幸に舌鼓を打ちながら、ワインを傾ける。昭和の旅愁を全身に浴びる一夜。

昭和三十年、天皇后両陛下が離れの錦華亭に宿泊されている。夕食は相模湾の豊富な幸が並ぶ。特筆すべきは陛下が箱根芋煮をお代わりされたことである。陛下は「強羅環翠楼にて」と題し、歌を詠まれている。「思ひでのふかき山々さびしげにそばだつ見えて秋ぞくれゆく」

作家の石川達三、火野葦平、尾崎一雄、丹羽文雄。年は下り、「収容所群島」を執筆、ロシアから米国に亡命したソルジェニツィンが、お忍びで来日、ここで旅装を解いた。昭和三十六年、第一回日米貿易経済合同委員会が開かれる。会場は仙石原のホテルが選ばれているが、昼食を強羅環翠楼の大広間でとっている。日本側から池田勇人総理、佐藤栄作通産大臣、大平正芳官房長官。米国側からラスク国務長官、ライシャワー駐日大使らが顔を揃えた。池田総理は所得倍増論を掲げ、日本は高度成長の道を歩む。食事は天ぶら、刺身、スキヤキが振舞われる。この年、坂本九の『上を向いて歩こう』が大ヒットしている。NETテレビで放映されていた西部劇『ローハイド』。昭和三十七年には、クリント・イー

ストウッドら主役たちが来日、羽田空港は大騒動になる。一行は強羅環翠楼に泊まった。元横綱の双葉山定次も宿泊。色紙に「寿」のひと文字を豪快に揮毫。昭和二十九年には、毎日新聞社主催の本因坊戦が開かれ、後に九連覇という大記録を成し遂げる高川秀格が、挑戦者の杉内雅男を退けた。「買ったしゃぼん」と、ちいさくなって、あすが別れの湯のけむり」と旅愁を綴ったのは西條八十である。

両陛下が宿泊された錦華亭や、岩崎康弥が好んで過ごした本館二階「晴旭の間」は、よき時代の面影を今もとどめる。部屋は十四室。風呂の名は石川達三や尾崎一雄が命名し、それぞれ木札にその名を記した。

昔は二階から木立の向こうに相模湾がくつきり見えた。明星ヶ岳の大文字焼は今も楽しめる。箱根は紫陽花も見事である。大都会の喧騒を忘れ、湯けむりに包まれ、相模湾で獲れた幸に舌鼓を打ちながら、ワインを傾ける。昭和の旅愁を全身に浴びる一夜。



強羅環翠楼
tel.0460-82-3141
<http://www.gourakansuirou.co.jp>